『2011年「電力線通信（PLC）」ビジネス実態総調査』を販売開始

報道関係者各位

平成２３年７月４日
株式会社クロス・マーケティング
（東証マザーズ 3629）

『2011年「電力線通信（PLC）」ビジネス実態総調査』を販売開始

～「電力線通信」主要プレイヤーの取り組み最前線／用途・適用分野別関連市場規模算出／将来予測～

■■ 要約 ■■

マーケティングリサーチを行う株式会社クロス・マーケティング（代表取締役社長 五十嵐 幹 東京都中央区）は、株式会社ESP総研（代表取締役 村岡 正悦 東京都豊島区）がまとめたレポート、『2011年「電力線通信（PLC）」ビジネス実態総調査』を販売開始しました。

詳細ページ：http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=608

■■ 商品概要 ■■

2011年度 第一四半期が間もなく終わろうとしているが、そういった中で「センサーネット」市場に包含される「電力線通信（PLC）」市場に期待が寄せられている。最新の「電力線通信（PLC）」ビジネスが実態的にどの程度進み、短期的かつ長期的に見てどういった分野（セグメント）でどの程度の市場（規模）が見込めるのか？時間軸別に市場浸透ロードマップを客観的にチェックし、「電力線通信（PLC）」先端＆有望ビジネス・シーズの「セグメント＆ビジネスモデル別 有望度評価」「セグメント＆ビジネスモデル別（実態／潜在）市場規模」を定点観測しながら多面的且つ網羅的に市場全体を俯瞰することが求められている。

※全文はこちらをご覧下さい。
http://www.cross-shop.jp/user_data/pdf/D-1106-ES-1647-P1.pdf

※サブタイトルはこちらをご覧下さい。
http://www.cross-shop.jp/user_data/pdf/D-1106-ES-1647-P3.pdf

■■ 調査概要 ■■

【調査対象】
Web上にて「電力線通信（PLC）」と言及している事業者＜100社・団体＞すべてにアプローチし、訪問＆電話取材依頼を行った。その結果、累計13社・団体（取材依頼企業全体の13.0%）が深堀取材OKを出した。

【調査方法】
弊社専門調査員による訪問取材、電話取材並びにメールによる追加的な情報収集、弊社内データベースの活用により調査・分析を行った（主は訪問取材であった）。

【調査＆レポート期間】
2010年11月18日 （取材依頼開始）~2011年1月31日 まで深堀調査（訪問取材、電話にてフォロー取材）を実施した。その後レポーティング（集計＆分析）を実施し、2011年6月24日 に集計＆分析ならびにコメント化が終了した。

■■ 目次概要 ■■

I.調査対象リスト一覧 編

1）調査対象プレイヤーの抽出方法：「電力線通信」プレイヤーは？
2）「電力線通信」ポテンシャル・プレイヤー×マーケティング・マトリックス

II.総括 編

・総括

0)「電力線通信」の定義範囲について

1）市場概況×ライフサイクル・フェーズにおける現状のポジション＆今後のシナリオ予測

2-1）当該主要7社・団体×当該売上額推移の換算
2-2）当該主要7社・団体×ビジネスモデル別 当該売上額推移の換算

3）「電力線通信」の当該市場規模

4-1）当該主要7社・団体ビジネスモデル×売上実績・予測から換算できる当該ビジネスモデル別 構成比率の変化・シナリオ
4-2）「電力線通信」の市場占有率ならびに当該売上ランキングについて

5）「電力線通信」の競合認識、参入プレイヤー数認識

6）主要7社・団体における「電力線通信」シーズ別『＜ハードウェア開発・製造・販売、ハードウェア+ソフトウェア＝システム提供、ソリューション・SI、受託研究』価格帯×当該売上 相関クロス

7-1）「電力線通信」×「適用分野」「販売ターゲット」コンサルティング
7-2）当該13社・団体における「適用分野」別 合計点数検証 有望度×実績クロス
7-3）適用分野、販売ターゲット×俯瞰図1「電力線通信」実態市場規模推移

8-2-1～3）「電力線通信」潜在市場規模推移『ケース1』
潜在市場規模：（株)ライト/（株)ゼルライン・ジャパン/日本PLANET INT(株)認識値より

9）「個票要約分析」×「適用分野」別比率シェア調査結果

10）「個票分析」×「技術クロス分布」

11）個票要約「ビジネスモデル」集計＆分析（1）～(3)

12-1～3）「個票要約分析」×「販売チャネル」
ゼロ段階：直販モデル/1段階以上：間接販売モデル/全体俯瞰

13）「個票分析」×「重点戦略」×「抽出重複件数」

14-1・2）開始時期×当該単年売上規模の相関（XY軸）統計/マッピング

15-1・2）導入実績×金額ベースから言えること/相関統計

16）前年比伸長率から見えてくる当該市場概況

17） 目標

18）今後の売上計画×当該売上規模クロス

19-1）「個票分析」×「市場拡大要因」分析 調査結果1・2
19-2）「個票分析」×「市場阻害要因」分析 調査結果1・2

20）「個票分析」×「ユーザー事例」分析調査

21）「個票要約分析」×「今後の方向性」×全体傾向

22）イノベーション・ポイント×「電力線通信」によって近未来シーンとしてどのようなことが可能になるのか？
「電力線通信」によって未来がどのように変わるのか？重要な観点
⇒ 「電力線通信」ビジネスの価値（V）→魅せ方⇒どのようにユーザーに切り込んで説得していくのか？
0）統計結果
1）コスト削減・人員削減
2）安全・安心、通信の安定化
3）繋ぐ・繋がる、通信の相互補完
4）省エネ・電力監視・スマートグリッド・メーターリーディング・スマートハウス・ホームエネルギーマネジメント

5）省力化・簡便化・合理化・人助け

23)「電力線通信」ビジネス 主要ベンダ・団体当該売上予測推移×ビジネスモデルMAP 一覧

24）「電力線通信」ベンダ×価格定義＆具体的な価格指標一覧

25-1～3）主要13社・団体における「電力線通信」×適用分野マトリックス一覧/ マトリックス一覧 点数化/ 主要13社・団体における分野・対象別×全体に占める「適用分野」比率、売上換算マトリックス一覧

26）「電力線通信」ビジネス×実態調査結果・マトリックス

III.個票要約 編

1） HD-PLCアライアンス ※パナソニック システムネットワークス(株)に取材
2）STマイクロエレクトロニクス
3）愛媛大学
4） 国立天文台 ※大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台
5） (株)サードプラステクノロジー
6） (株)CSPフロンティア研究所
7）湘南工科大学
8） (株)ゼルライン・ジャパン
9） (株)タムラ製作所
10）日本PLANET INT(株)
11）(株)ネットインデックス
12）(株)バッファロー
13）(株)ライト

【当該主要プレイヤー×共通ヒアリング項目】

（1）「電力線通信」関連／中核プロダクツ＆ソリューション＆サービス概要
（2）適用分野・対象エリア
（3）主要技術
（4）ビジネスモデル・販売チャネル
（5）重点戦略・販売ターゲット
（6）開始時期・導入実績・目標
（7）当該市場規模／当該売上計画
（8）市場拡大要因／市場阻害要因
（9）ユーザー事例／競合＆当該プレイヤー数認識
（10）今後の事業の方向性
（11）「電力線通信」によって近未来シーンとしてどのようなことが可能になるのか？「電力線通信」によって未来がどのように変わるのか？重要な観点
（12）参考情報
URL/電話番号/売上高/従業員数/設立年月
（13）当該ビジネス×売上推移

2009年度（実績）
2010年度（見込）

奥付け

※詳細目次はこちら
http://www.cross-shop.jp/user_data/pdf/D-1106-ES-1647-P2.pdf

※「電力線通信＜PLC＞（ビジネス）」は「電力線通信」と記載いたしております。

■■ 概要 ■■

資 料 名：2011年「電力線通信（PLC）」ビジネス実態総調査
発 刊 日：2011年6月27日
調査・発行：株式会社ESP総研
販 売：株式会社クロス・マーケティング
体 裁：A4/216ページ
頒 価：
■製本 99,750円（本体95,000円、消費税4,750円）
■CD-ROM 99,750円（本体95,000円、消費税4,750円）
■製本＋CD-ROM 149,625円（本体142,500円、消費税7,125円）

※各別途送料 500円
※オンデマンド印刷

詳細ページ： http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=608

■■ 購入に関しまして ■■

【お申し込み方法】
上記URLよりお申し込み下さい。

【お支払い方法】
法人様・・銀行振込みの後払いとなります。
請求書と納品書をお送りいたしますので、振込み期日までに指定口座へお振込
みください。

個人様・・銀行振込みの前払いとなります。
お申し込み後に請求書をお送りいたします。
ご入金が確認されましてから、商品を発送いたします。

■■ 株式会社クロス・マーケティングについて ■■

株式会社クロス・マーケティングは、国内130万人超の大規模モニターを軸に、

生活者の「生」の声を、主にインターネットを活用して収集するマーケティングリサーチ会社です。
生活者の嗜好の多様化や、商品サイクルの短期化に対応するため、ネットリサーチの優位性である「スピード」「コスト」に加え、「品質」を最大限に重視したリサーチサービスを展開しています。
調査企画から設計、実査、集計・分析レポートまで、マーケティングリサーチに関するあらゆるサービスをトータルにサポートいたします。

■■ 株式会社クロス・マーケティング 会社概要 ■■

名称：株式会社クロス・マーケティング
本社所在地：東京都中央区銀座8丁目15番2号 銀座COMビル6Ｆ
代表者：代表取締役社長 五十嵐 幹
設立：2003年4月
URL：http://www.cross-m.co.jp/

■■ 本件に関するお問い合わせ先 ■■

株式会社クロス・マーケティング
Cross Shop 販売窓口担当

Tel：03-3549-1319
Fax：03-5565-5458
Mail：cs-info@cross-m.co.jp
Facebook ⇒ http://www.facebook.com/pages/Cross-Shop/164004066984033
twitter ⇒ http://twitter.com/cross_CS

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com